

史跡大友氏遺跡整備基本計画（第1期）

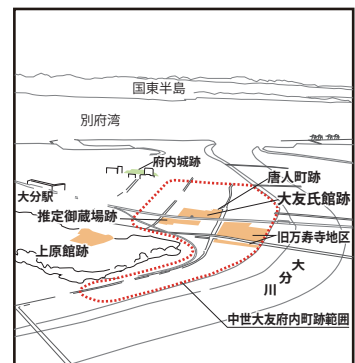
令和元年度改訂版

令和2年3月

大分市教育委員会



大友氏遺跡遠景空中写真（南から：平成30年10月1日撮影）





緑線：歴史公園範囲 〇：保護を要する範囲

大友氏館跡全景空中写真1（上が北：平成31年1月18日撮影）



〇：大友氏館跡（保護を要する範囲）

大友氏館跡全景空中写真2（南東から：令和2年3月3日撮影）

序 文

本市では、「大友宗麟公」をまちづくりのシンボルと位置づけ、本市の新たな魅力とするよう取り組んでいます。

その中核が、大友氏館跡をはじめとする「国指定史跡大友氏遺跡」であり、平成13年に大友氏館跡の一部が国史跡に指定されて以来、史跡指定・公有化と発掘調査を進めるとともに、遺跡見学会やイベントを通じて、大友氏遺跡の普及啓発と情報発信に努めてまいりました。

大友氏遺跡を本格的に整備活用するための取組としては、平成25年度に「史跡大友氏遺跡保存活用計画」を策定して、史跡を保存継承していくための指針等を定めることから着手しました。次に、平成27年12月には「史跡大友氏遺跡整備基本計画（第1期）」を策定し、短期整備として大友氏館跡庭園遺構の整備や仮ガイダンス施設「南蛮 BVNGO 交流館」の設置を行ってまいりました。

本書は、短期整備の進捗状況などを踏まえて改めて課題整理を行い、現行の整備基本計画を改訂するものです。この改訂版には、大友氏館跡中心建物等の復元整備や歴史文化観光拠点施設の整備に係る方針に加え、出土品の重要文化財指定や遺跡周辺での景観形成など、新たに認識された諸課題を解決するための取組について盛り込んでいます。

今後は、本書を踏まえ、整備活用の基本目標である「南蛮文化発祥都市おおいの創造・体感・発信」拠点としての歴史公園整備に向けて、市民の皆様と連携しながら取り組んでまいります。

最後になりましたが、本計画改訂にあたり、多くのご指導・ご意見をいただきました、史跡大友氏遺跡整備検討委員会委員や市民の皆様をはじめ、関係者各位に対しまして、心よりお礼を申し上げます。

令和2年3月31日

大分市教育委員会
教育長 三浦 享二

例 言

1. 本書は、大分市顕徳町他に所在する史跡大友氏遺跡の整備基本計画（第1期）の令和元年度改訂版であり、大分市教育委員会が定めたものである。
2. 本改訂版は、平成30年度と令和元年度の2カ年で検討し、策定した。
3. 本改訂にかかる事務は、大分市教育委員会教育部文化財課が担当した。
4. 本改訂版の原案作成後に、大分市市民意見公募（パブリックコメント）の手続きを行い、その結果を最終案に反映している。市民意見公募の結果は、令和3年3月末まで大分市のホームページ（<http://www.city.oita.oita.jp>）や文化財課窓口などで閲覧することができる。
5. 本書で使用した写真ならびに空中写真は、大分市教育委員会が撮影・保管しているものを使用した。

目 次

○巻頭写真図版

○序 文

○例 言

第1章 整備基本計画策定及び改訂の経緯と目的……………1

1. 計画策定に至る経緯
2. 計画の改訂
3. 計画策定の目的
4. 計画の対象範囲
5. 計画の期間
6. 策定の体制と経過

第2章 史跡大友氏遺跡の立地・環境……………9

1. 歴史的環境
2. 自然的環境
3. 社会的環境

第3章 大友氏遺跡及び整備計画地の概要と課題……………31

1. 史跡指定の状況
2. これまでの史跡整備への取り組み
3. 各地区の発掘調査等の経過と概要
4. 利便施設用地の概要
5. 整備における検討課題と対応
6. 短期整備の進捗状況について

第4章 整備活用の基本方針とゾーニング……………75

1. 整備活用の基本目標・基本方針
2. 整備ゾーニング

第5章 整備基本計画（第1期・中期）……………83

1. 調査計画
2. 遺構保存計画
3. 遺構復元計画
4. 出土品の重要文化財指定に関する計画
5. 動線計画
6. 案内・解説施設に関する計画

7. 植栽計画
8. 景観形成計画
9. 管理施設及び利便施設に関する計画
10. 設備計画
11. 公開・活用に関する計画
12. 整備後の管理運営計画

第6章 事業計画116

1. 年次計画
2. 事業手法
3. 事業推進体制

付属資料119

- 資料1 大友氏を活かしたまちづくり庁内検討委員会設置要綱
- 資料2 史跡大友氏遺跡整備検討委員会設置要綱
- 資料3 史跡大友氏遺跡整備検討委員会委員名簿